

地質標本館屋外展示

<地質標本館¹⁾>

地質標本館では、館内の展示に加え、玄関前にもいくつかの屋外展示物を設置しています。このうちの一つに、兵庫県豊岡市竹野町林産の流紋岩があります。これは当地の玄武洞ミュージアムから2008年に寄贈いただいた大型標本です。近畿地方の日本海側には新第三紀中新世に噴出した流紋岩やデイサイト（北丹層群豊岡累層）が分布しており、その美しい海岸景観は山陰海岸ジオパークの目玉に

もなっています。この流紋岩は、流理構造、カリフラワーに似た構造、黒、白、茶、緑など変化に富む色調で特徴づけられます。黒色の球状部は、カリ長石、クリストバライト、石英等が緻密に固結しているところです。その周囲はガラス質だったために変質が進行しており、緑色の粘土鉱物が見られます。



写真1 地質標本館正面に展示されている兵庫県豊岡市産の流紋岩（GSJ R83538）。



写真2 上記標本の下部の切断研磨面（GSJ R83538）。

1) 産総研 地質標本館（文責：青木正博・利光誠一）

Geological Museum (2012) Rock specimen displayed in front of the Geological Museum, GSJ, AIST.